

2011年(平成23年)7月17日(日曜日)

十勝毎日新聞

街頭で交通安全訴え

声掛け運動行う電信通り商店街

電信通住民と振興局職員らが協力した交通安全の街頭啓発活動



夏の交通安全運動がスタートした15日、帯広市東2南5、6の帯広電信通交差点で、地域住民と十勝合同庁舎職員約80人が、道行くドライ

バーに安全運転を呼び掛け

た。地元「電信通り商店街振興組合」(長谷渉理事長)は今年度、道の交通安全事業

「シニアアドバイザーの店」に23店舗が登録し、来店する高齢者への事故防止の声掛け運動を行っている。

この日は組合員ら20人が、十勝総合振興局、十勝教育局職員と合同で、黄色いタスキ姿で旗を持って街頭PRを行った。長谷理事長は「東地区は高齢化率が高い地域。日々の声掛け運動が大事で、1件でも地域の事故がなくなれば」と話していた。

同局では、今年から管内各団体などに同事業への参加を呼び掛けており、環境生活課は「帰りの道に気をつけて」など、ちょっとした声掛けが事故防止につながる。市内の他の商店街などにも広がってほしい」と期待している。

(小林祐巳)